



校長室だより 笑顔



◆さくら児童会スローガン：助け合い 夢に向かって あかいつ子◆



児童主体！あかいつ子フェスティバル開催



コロナ禍で、安全な行事作りに高学年が取り組みました。

9月17日(木)にさくら児童会主催「あかいつ子フェスティバル」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症(以下コロナ)感染の防止のガイドラインに則って、3密防止やうがい・手洗い、消毒、換気等の約束の基、6年生が中心になりゲーム内容や会場のレイアウトを工夫して安全なフェスティバルを開催しました。

例えば、ゲームを待っている列はソーシャルディスタンスを取って並ぶように椅子を配置する。換気の時間を作る。ゲーム前後には消毒をする等々。1年生にとっては全学年が参加する初めての行事で、ゲームをしたり自分の番を楽しみに待っていたりする顔は終始笑顔でした。そして、楽しい時間はあっという間に過ぎて閉会式。閉会式では、夏休み前から企画や準備をしてきた6年生の教室に向けて全校児童が拍手を贈りました。

当日は6年生の保護者だけが参加できるように制限をして、他の保護者の方には申し訳ありませんでした。感染予防のため措置でしたので、この便りから、上級生が下級生を思いやる温かく工夫いっぱいの行事の様子が伝わればと思います。



【まねっこカンつみゲーム】

【魚釣りゲーム】

見本を見て色と形をそっくりにする 釣り上げ魚の裏に得点が・・・



高得点を黒板に記録する高学年

6年生がやさしく下級生を引率

行事終了後、下級生から6年生の教室に感謝の手紙がたくさん届きました。廊下に掲示された手紙を読むと6年生を慕う言葉にあふれていました。工夫と思いやりを育んだフェスティバルでした。



メディアコントロールを学ぶ！ケータイ・スマホ教室



ご家庭でルール作りをお願いします

9月15日(火)に4・5・6年生を対象にケータイ・スマホ教室を携帯電話会社の方を講師に迎えて講堂で開催しました。目的はネット・SNSを適切に使うこととSNSのトラブルを未然に防止することです。以下の3つの話を中心に何が問題だったのかを話し合いながら使い方を学びました。

- 1 「文字のコミュニケーション？」発音の違いで真意が伝わらずいじめられた。
- 2 「時間とお金の使い方」課金の約束を守らずに多額の請求がきた。
- 3 「ネットの親友」ネットで知り合った友達の本当の姿は怖い大人だった。

具体例が示され、子供たちは真剣に今後の使い方について考えました。



第3回学校運営協議会開催！俊齋学習カリキュラム

第1回，第2回とコロナ感染防止の為，紙面開催をしていた学校運営協議会を9月初旬に開催しました。

1 第1部 「俊齋授業の参観」と「俊齋研修会（講話）」

3年生が，大槻俊齋の副読本を使って，俊齋先生が江戸から長崎に行き西洋医学の勉強を望む強い意志と，それを支えてくれた人々への感謝の気持ちを学ぶ授業を参観しました。

更に6年生が，副読本を作り，俊齋学習をスタートさせた当時の様子を，その時のPTA会長であった外処さんを講師に招いて講話を聴きました。CS委員も一緒に研修に参加して俊齋学習カリキュラムの誕生の話を聞きました。



赤井の先人を知る：俊齋研修会

2 第2部 「学校運営協議会会議」

齋藤英彦CS会長のあいさつの後に小職より4月からの「コロナ感染予防対策」と「学びの保障」，そして「児童の心のケア」について話をしました。

次に俊齋授業と研修会についての協議を行い，**着実に俊齋学習が定着し，心の育成に大きな役割を担ってことが確認されました。**その後，和太鼓活動，田んぼの学校，俊齋学習，ボランティアの各部会に分かれ，1学期の反省と2・3学期の計画について話し合いました。今後は，部会ごとに活動が進められます。



CS「田んぼの学校部会」の話し合い



赤井の先人の生き方に学ぶ「俊齋学習カリキュラム」

9月は大槻俊齋月間として1年生から6年生までが，大槻俊齋先生の学習を道徳や国語で実施しています。



CS委員に発表を褒められた3年生



青年期の熱い志を学んだ4年生



俊齋先生に初めて出会った1年生

新入生の保護者の方もいるので改めて本校の「俊齋学習カリキュラム」について

平成29年に学校とPTAと地域が「俊齋プロジェクト」を立ち上げて志教育副読本「大槻俊齋」を作成しました。大槻俊齋は**赤井出身**の江戸時代後期に活躍した医師で，多くの人が苦しんだ病気「天然痘」を治すことに力を注いだ方です。**苦難の中，多くの命を救った俊齋先生の生き方から学んだことを，本校児童の生活や生き方に生かしています。**具体的な教育活動として9月を「俊齋月間」に指定し道徳の授業を全学年で実施しています。また，矢本二中学区小中連携事業の中で授業を公開し「大槻俊齋」教材の積極的な活用を他校にも促すことに取り組んでいます。（今年はコロナで未実施）**俊齋プロジェクトも4年目となり，児童は夢や希望，志を持って生きることの大切さを理解してきています。**（東松島市保健相談センターに銅像があります。一度ご覧ください。）



副読本「大槻俊齋」挿絵
絵：相澤宏智氏